

会報 けやき会 2021

埼玉大学教養学部同窓会だより Vol.19

WEBを活用したオンラインセミナー“さきたま塾”就活ゼミが発展、けやき会の新しい活動が始まりました！

新型コロナウイルス禍で様々な制約が課される中、気軽&手軽に誰でも参加できる「集いの場」をご紹介します。



卒業生と在學生を繋ぎ 互いの成長を目指す オンラインセミナー “さきたま塾” 始動!

【昨年の活動】
第一に、昨年の活動です。2012年から教養学部生の就職活動を支援する「就

活ゼミ」を約10年間続けており、この「就活ゼミ」でけやき会理事である田口美一氏に講演頂いた事から「さきたま塾」がスタートしました。

「さきたま塾」の昨年の活動(過去)、今年の取り組み(現在)、今後のビジョン(未来)の3点について簡単に説明させて頂きます。

初めまして。「さきたま塾」事務局の石澤と申します。現在「さきたま塾」では、教養学部生を中心に、全ての埼玉大学卒業生&在學生へ学び&経験を提供するオンラインセミナーを実施しています。

◆活動概要
活動の概要としては、1年間に6回ほど、オンラインの「Zoom」にて、卒業生が自身の埼玉大時代や仕事についてプレゼンし、議論と考察を深めています。

◆活動内容&活動方針
卒業生が自身の埼玉大時代や仕事についてプレゼンし、議論&考察を深める

・在學生は卒業生のプレゼンを自身の埼玉大学での学生生活&就職活動の参考として活かす

・埼玉大卒業後も、定期的に集まれるアットホームな「場」で、参加メンバーがどんどん成長する

◆メンバー
塾長 田口美一 (81年卒) 会社システム/けやき会理事/経済アナリスト)

・事務局
石澤和也、井下(設楽)咲紀、金子将也、穴戸由加里(以上は、けやき会常任理事)、河野(高須)真澄、羽賀(石澤)美樹、高木真慈(以上は同理事)など22名 (敬称略)

・会員：100名以上が参加



塾長 田口美一



◇活動方式

・2020年4月からスタート、これまで8回活動実施
 ・コロナ禍のため、活動は全てオンライン（「Zoom」&「Googlemeet」）



オンラインでの活動

・卒業生・埼玉大学全学部 & 大学院・全学年・関心のある他大学の方、全員参加
 OK
 ・2020年2月16日には、「さきたま塾」の前身となる「第1回OBOG交流会」も開催

◇社会人のプレゼンテーマ
 (代表例)

・「ODA業界で働くとい



「さきたま塾」の前身となった就活ゼミ

うこと」(中川和広さん O P N A C 株式会社)

・「私の大学生活」新社会人生活」(外山実季さん 株式会社クボタ)

・「美術を通じた自己実現と社会貢献」(小野雄希さん 大阪大学大学院修士課程 在学中)

・「選択的夫婦別姓制度をめぐる議論と法制化を目指したアドボカシー活動」(羽賀美樹さん)

◇埼玉大学学長も参加

・昨年の交流会では埼玉大学の坂井学長、重原副学長、柳澤副学長、そして教養学部長の野中先生にもご参加頂きました。

またけやき会の役員からは岡田道程(会長)、吉野晃(副会長)、萬年拓郎(副会長、

堀江誠(常任理事)、稲葉雅美(常任理事)、平野友紀(常任理事)、石原裕(常任理事)も参加いたしました。

【今年の取り組み】

第二に、今年の取り組みです。以下3点を実施します。

①プレゼン

まず、昨年同様に、卒業生が自身の埼玉大時代や仕事についてプレゼンし、議論と考察を深める活動を継続します。

仕事や様々な活動に邁進されている社会人の方々にプレゼンしてもらう事で、社会人は視野が広がり、在学生は就職活動の参考となります。

②トークセッション

また、「女性のキャリア」



OBOG交流会(中央・岡田会長その右が学部長)

などのテーマで、トークセッションを実施します。社会人の方に3〜4名程度登壇してもらい、仕事やプライベートの「リアル」な悩みを語ってもらうようにします。

社会人の等身大の悩みを共有&議論する事で、より良い気づきが生まれます。

③「プレゼンさきたま塾」

そして、OBである渡邊将平さんを中心に「プレゼンさきたま塾」を開催します。

20代の社会人が「さきたま塾」に気軽に参加できるように、若手社会人のみの自主勉強会を実施します。「プレゼンさきたま塾」でのグループディスカッションなどを体験する事で「さきたま塾」に参加しやすくなります。

【今後のビジョン】

第三に、今後のビジョンです。

今後のさきたま塾の大目標は「塾長である田口氏(職歴：日銀↓東京海上↓クレディスイス証券)の薫陶を受けた20代&30代が中心となり、互いに協力し、切磋琢磨する事で、日本と世界と埼玉大学に貢献する」

です。

そして、まず目の前の目標(中目標)は、以下の3つとなります。

①講演&プレゼンを聴いて、塾生がどのように考えるか & 行動するかアウトプットする

②田口塾長からそれぞれ個別にフィードバックをもらい、自身の仕事&人生に活かす

③塾生間で互いに協力&切磋琢磨し、刺激し合う

教養学部生、埼玉大生は非常にポテンシャルがある為、卒業生&在学生同士で協力し合う事ができれば、より豊かな人生になると考えております。具体的には、以下をイメージしています。

◇40代〜80代のOBOG

・さきたま塾での後輩への指導

・さきたま塾での活動への寄付

◇20代〜30代のOBOG

・さきたま塾への参加
 ・さきたま塾での学び & 経験を自身の仕事 & 人生に活かす

◇在学生

・社会人の先輩のアドバイスを埼玉大学の学生生活に

活かす
・自身の就職活動に全力で取り組む

以上のように、皆さんの力をお借りしながら、上記のシステム(体制)を構築していきたいと思えます。

【「さきたま塾」活動に寄付のお願い】
 この活動を支えるため皆さんの支援をお願いします！

銀行名：埼玉りそな銀行 北浦和西口支店
 店番：349 科目：普通 口座番号：4534302
 名義：埼玉大学教養学部同窓会 けやき会
 (なまえ：サイタマダイガクキョウヨウガクブドウソウカイ)

※上記口座は、「さきたま塾」と「就活ゼミ」の共同管理となっています。厳正に管理しながら後輩の為に、活用させて頂き、適時、けやき会として活動報告いたします。

【お願い】
最後に皆さんへのお願いです。

さきたま塾での活動を永く継続する為に、以下の3点のご協力をお願い申し上げます。
①さきたま塾へ是非ご参加

「さきたま塾」に関心がある方、参加したい方はメール連絡をお願いします。メールには ①お名前 ②所属コース&ゼミ ③卒業年次 を記載して下さい。

■連絡先
埼玉大学 教養学部同窓会 けやき会
さきたま塾 事務局
石澤和也
Email : kazuyaishizawa@gmail.com
TEL : 090-3640-4277
LINE ID : kazuyaishizawa



石澤 和也

(国際関係論専攻 2010年卒)
さきたま塾 事務局
石澤和也

卒業生の皆様、教養学部生を中心とした埼玉大生、教養学部、埼玉大学の全てにメリットがあるように活動してまいります。10年単位で末永く、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

②何かご協力頂ける事があれば、以下の私の連絡先へ遠慮なくご連絡願います
③上記の銀行口座への活動費の寄付もお願いいたします

■参加者の感想

コロナ禍でも学びの場を与えてくれるさきたま塾

井下(設楽)咲紀
(2011年卒業)



昨年の春、コロナ禍により新たな出会いや学びの場に出かける機会が一気に減りました。その状況を窮屈に感じていた中で知ったのが、オンラインで開催されるさきたま塾です。
自宅にいなながら世界どこからでも参加が可能で、対面では会う機会がなかったであろう登壇者のお話を聞き、議論することを通じて、世代や分野を越えた人との繋がりができつつあります。
私にとってのさきたま塾の一番の魅力とは、経験豊富な教養学部OB・OG、現役生の生の声を聞ける点です。特に、塾長の田口さんの話には毎回刺激を受けています。

日本とアメリカで経済の専門家として働いた経験を持つ田口さんからは、社会や経済の知識を得ることにとどまらず、「自分のキャリアとは？人生とは？」といった大きなテーマについて、毎回自身自身を振り返り、これからの行動を考えきつかけをもらっています。

また、製造業、マスコミ、芸術など、様々な分野で活躍するOB・OGや現役生の話を聞くことで、日々のニュースの見方が変わるの面白さの変化です。興味の幅が広い教養学部の学生やOB・OGだからこそ、質疑応答ではどんな話が広がり、思ってもみなかった物事の繋がりに気づくこともありました。

なかなか行動範囲を広げづらい今だからこそ、このオンラインのコミュニティには大きな可能性がありそうです。今後
もこの輪が広がっていくよう、事務局の一人としてサポートしていきたいと思えます。



【レポート】
2/28さきたま塾

2021年2月28日(日)
午前に開催のさきたま塾は
・「埼玉県立近代美術館(MOMAS)とわたし」
・「逃げ恥スペシャル」
見ましたか？あるある名言からみる日本の課題」(座談会形式)
の二本立てで行われました。

前半は同美術館にお勤めの喜多春月さん(埼玉大学人文社会科学部研究科OG)による同館のコレクション紹介。

WEBならではの豊富な画像を使つての丁寧でわかりやすい解説と同窓生ならではのユニークな質疑などで盛り上がりました。



←次ページ下段へ続きます。

学部長あいさつ

教養学部長 野中進



同窓会の皆様、こんにちは。教養学部長の野中です。けやき会会報にご挨拶の機会をいただき、ありがとうございます。でございます。

この三月で、学部長としての最初の一年が終わりですが、ご想像の通り、最初から最後までコロナ対応に追われました。授業をどう行うかに始まり、入試をどうするかまで、難題続きの一年となりました。

マスコミでも報道されているように、本学を含め、首都圏の大学は軒並み遠隔授業となり、大学生たち（とくに新入生）は不満と孤独感、経済的困窮に苛まれています。埼玉大学では坂井新学長の下、いち早く困窮学生への経済的支援を行い、昨春、全国的に報道

されたことはご記憶の方もいらっしゃるでしょう。それに際して、けやき会を含め、埼玉大学同窓会から多大なご支援をいただいたことにお礼申し上げます。教養学部の教員たちも、親睦会積立金から30万円を寄付するなど致しました。

また、けやき会では総会を中止せざるを得なかったにもかかわらず、例年通り、学部教育支援金（10万円）とけやき賞（5万円×2人）をいただき、お礼申し上げます。2020年10月に岡田会長がわざわざ大学までお出でになり、賞状と副賞をお届けいただきました。

学部への支援金は教養学部資料センターの学生用図書資料の充実に充てさせていただきました。けやき賞については、教養学部から大学院人文社会科学研究科に内部進学した学生二名（吉田優希さん、笠原万理子さん）を推薦申し上げ、お認めいただきました。

今や教養学部の名物授業



と「Introduction to Japan ese Culture」も例年通り開講できましたが、これもひとえに榎木前会長、加藤基さん（本学フェロー）のご尽力によるものです。こういう時だからこそ、学生たちは先輩方の言葉を強く心に受け止めたようです。

これ以外にも、けやき会の若きリーダー、石澤和也さんと高木真慈さんを中心とする就活ゼミ、田口美一さんを擁した「さきたま塾」など、就職支援でも大変お世話になっていきます。今年度卒業予定者の進路決定率は、当初案じていたより良いもので、けやき会のサポートが大きいと思われま

す。来年度以降もお取組をいただければ幸いです。困難な時ほど、同窓会との結びつきが強く、ありがたく感じられます。学生たちははとうと、今後の見通しが不透明な中、不安や諦めの言葉を漏らすことも多いのですが、そんな彼らを慰め、励ます言葉を発することができているだろうか

と自己をふり返る毎日です。実社会で同様に（あるいはそれ以上に）ご苦労されて

いるであろう先輩方のコメントが、この「異常な日常」を新しい角度から見つめ直す機会を得られるのではないかと思います。今後とも、けやき会と教養学部の協力関係が深く、強いものになっていくことを願い、学部長として尽力したいと考えております。



古本募金で母校の応援



埼玉大学古本募金は、古本（DVDもOK）を送っていただき、その査定額を埼玉大学基金に寄付する取り組み。5点以上は送料無料。詳しくは「埼玉大学 古本募金」で検索してみてください。

2021年1月現在の実績	
寄附冊数	27,289冊
寄附金額	1,036,539円

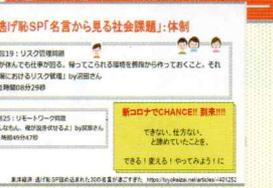
古本募金はこちら。←



2/28さきたま塾(続き)

後半はTVのヒット番組のさまざまな名言から自分の生き方と社会課題を問うクロストーク。

4人のパネラーの就活時の軸と現在のキャリアを紹介しながら、それぞれが出会ったさまざまな問題とどう向き合い解決したかを話し合いました。



次回以降の「さきたま塾」の情報は、けやき会ホームページでもお知らせします。

会長あいさつ

けやき会会長 岡田 道程



2021年度、新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。この1年間、高校生として大変不安な毎日をご過ごされたかと思いません。

2020年度は、4月に発令された緊急事態宣言以降、学校教育も例外なくコロナ対策に忙殺されました。大学でも事情は同じで、対面式の授業に代わり、オンライン、オンライン、ズーム形式等による非対面式授業が中心となり、学生も教員も未知数の経験で苦勞しました。

また、卒業された皆さまも、コロナ禍での社会生活やテレワーク等、困難なことがたくさんあったかと思像します。

同窓会の活動については、すでに学部長の野中先生が、ご紹介くださった通りです。

まず、例年のような総会、講演会、懇親会が中止になりました。また、大学と埼玉大学同窓会が合同で行うホームカミングも、残念ながら中止となりました。このように、同窓会、けやき会にとっては最大のイベントがなくなる状況でしたが、それに代わる活動を地道に続けてまいりました。

一例を申し上げれば、埼玉大学教養学部への支援活動です。2019年度に続き、第2回目の「けやき賞」を埼玉大学大学院人文社会科学研究所博士前期課程の優秀な2人の研究者、笠原万理子さん、吉田優希さんに授与できたことは、幸いでした。

また、埼大生のための「就活ゼミ」（高木眞慈代表）では、コロナ禍で学生の就職活動が大変な中、オンラインを通じて社会人となつ



た卒業生が、在学生を指導する形で、今までにない実績をあげました。

さらに、昨年2月、新たに立ち上げた「さきたま塾」（田口美一塾長、石澤和也事務局長）では、オンライン形式で、卒業生なら誰でも視聴できる講座を作りましました。今後は、同窓生のための公開講座のような形で展開し、同窓生が自宅で居ながらにして参加できるような仕組みにしていきたいと思っております。

なお、これらけやき会独自の活動である「就活ゼミ」「さきたま塾」については、埼玉大学の学長、副学長からも高く評価していただいていることも、付け加えさせていただきます。

ついですが、このような新しい試みを実践するために、20代、30代の若い同窓生、計6名にも常任理事と理事に入ってもらいました。同窓会を活性化するためです。

今年も、少なくとも夏前までは、この状況が続くことが予想されます。従って、6月の総会は中止し、代わりにHP上での議案提案とそれに対するご承認をお願い

いしなればなりません。

毎年、10月開催のホームカミングデーは、今後の決定になります。幸い、2月中旬から医療従事者を中心に、ワクチンの先行接種が始まりました。順調にいけば、高齢者、基礎疾患を持つ人、一般の国民の順に、今後はワクチン接種が実施されるはずで、夏以降、大きく状況は変化する可能性があります。



けやき会としましても、慎重に状況を見極めながら、出来る範囲で今年も積極的に活動して参りたいと思っております。皆さまの温かいご理解とご支援を切にお願い致します。



会報 けやき会2021

目次

さきたま塾	1
石澤 和也氏	
学部長あいさつ	4
会長あいさつ	5
同窓生から	6
中山 文宣氏	
羽賀(石澤) 美樹氏	
穴戸 由加里氏	
田沼 美知子氏	
高橋 康夫氏	
第二回けやき賞	9
笠原 万理子氏	
吉田 優希氏	
就活ゼミ	10
高木 眞慈氏	
コロナのなかの大学	12
けやき会総会	14
名簿発行のお知らせ	15
けやき商店街募集	16



同窓生から

広く各地で活躍する 同窓生からのレポート

「人生は予期せぬ物語」

中山 文宣

(95年卒・文化人類学コース)
(株)日本パーカーライジング
広島工場
代表取締役社長

私は1995年に教養学部文化人類学コースを卒業し、そのまま大学院に進学。1997年に文化科学研究科を卒業しました。

小さいころから神話や物語、海外の文化風習に興味があった私にとって、埼玉大学教養学部は天国のようなところでした。自分の好きな授業を自由に受けられ、どの先生も親切にご指導くださいました。文化人類学の先生方はとくに个性的で、今では許されないかもしれませんが、研究室の本の谷間でお酒をご一緒したこともありました。



図書館の書庫には戦前の本もあり、語学もアラビア語からフランス語、ヘブライ語まで学習できました。当時、私は朝から夕方まで授業を受けまくっていました。

大好きな時間と空間でしたが、研究者に進む頭脳もなく、当時付き合っていた彼女と結婚することを決め、卒業、結婚、就職を1997年3月の1か月あまりの間にすべてこなししました。今思っても、先生方や先輩方のサポートがなければできなかつたと思います。

少しでも文化の香りに触れていたいと就職活動は出版社一筋でした。当時から出版社は厳しい業界で募集は少なく、それでもなんとか専門出版社に滑り込むことができました。

ところが、どういう運命か、今では亡き岳父のあとをついで中小企業の経営をしています。広島に家族と引っ越して12年経ち、お好み焼きの味にも慣れ、広島

弁も怖いと思わなくなりました(けっして、私が怖い広島弁をしゃべるからではありません)。

広島は自然も近く食事もおいしい。適度に都会で住みやすいところです。カープの話をすれば、たいいていのおじさんと仲良くなれます(最近女子とも仲良くなれます)。

思えば、学生のとときに考えていた道とは大きく外れてしまいました。もしかしたら、平日は京都で大学の先生と出版の打合せをし、休日は自転車で古刹めぐりや釣りをしている生活をしていたかと夢想することもあります。しかし、今の人生に不満があるわけではありません。それどころか、学生の頃に考えていたのは別の形で自己実現をしようとしているのだと思います。

私が刷新した経営理念は、中国の古典から取りました。中国への興味を引き出してくださった東洋史の先生、中国文学



出張先の中国で

の先生のおかげです。会社では、早くから多様性とSDGsを軸にして経営を進めています。文化人類学で相対主義や多様性について学んだおかげです。



CSRで海ごみゼロに参加

最後に、これから学びたいと思います。人生は予

引き継いだ会社の基盤をもとに、国際的な舞台で先進分野に進むことを虎視眈々と狙うのも、根っこには異文化へのあこがれがあると思います。

株式会社日本パーカーライジング広島工場は、1940年に中国地方における金属表面処理の会社として設立されました。金属表面処理とは、鉄などの金属の上に化学的に被膜をつけることで、防錆、塗装下地、潤滑性などの機能を付与する処理です。現在では自動車、鉄鋼、電機機器、一般機械部品、造船などあらゆる金属に必須の工程となっています。

表面処理事業で拡大する一方、1946年には日本でもいち早く道路標識の製造を手掛け、その後のモータリゼーションの流れに乗り設計、製造、施工と業務を拡大。日本でも大手の交通安全標識の会社となりました。

今ではNEXCOや首都高速道路などで工事を受注するほか、メンテナンスや維持補修の業務も行っています。

その後も積極的な事業展開を続け、建築内装事業を東京に展開、航空機エンジンの表面処理にも進出しています。今後もニッチな分野に特化した技術で、異業種や海外への進出を目指していきます。



一番新しい表面処理ライン



航空機エンジンの例

期せぬ物語です。その時に失敗と思ったことでも、後から思えばよかったことはいくらでもあります。思いもかけなかったことや出会いが、自分の人生を決めることもありま。進む道は一つではありません。自分の可能性を狭めるのはただ自分の気持ちだけ。コロナの影響が社会に深刻な影響を及ぼすなか、どうぞ前向きに自分の道を探してください。皆様が自分を信じ行動できることをお祈りしています。

誰もが望む名前
で生きられる社会を

〜選択的夫婦別姓〜

羽賀(石澤) 美樹

(13年卒・国際関係論)



皆さんは「選択的夫婦別姓制度」について考えたことがありますか？夫婦が望む場合には、結婚後も夫婦がそれぞれ結婚前の氏を称することを認める制度のこ

とです。

日本では、日本人同士が結婚する際、約96%の場合女性が改姓しています。選択的夫婦別姓制度がない国は世界で日本のみで、この制度が改姓する側にとって負担であるとされます。

制度導入の議論が始まってから既に40年が経過しました。結婚する年代では男女ともに賛成が多数、最近ではニュースでも話題になることが増えましたが、一部の反対により実現していません。

私は4年前に結婚した際、望まない改姓を経験しました。それがきっかけとなり、「選択的夫婦別姓・全国陳情アクション」という選択的夫婦別姓の法制化を目指す活動する市民団体に入り、陳情活動を始めました。

今では理解者となった夫と共に、東京近辺の議員や地元福島県の議員、そして国会議員など、50人近い議員に会い、当事者の声を届けてきました。

このような活動を通して感じるのは、最初は反対でも、選択的であることを中心に伝えたり、当事者の困りごととして伝えると賛成

に転じてくれる方が殆どだということなのです。



さいたま市議会に陳情(2021年1月)
自民、民主改革の各議員2名と
(筆者は左から2人目)

さいたま市議会では
選択的夫婦別姓の法制化を求める
意見書の提出に向け活動中

結婚はお互いの信頼や尊敬の上に成り立ちます。夫が名前を変えたくないのなら、妻の「名前を変えたくない」という気持ちも大事にされるべきです。名字で家族の絆は決まらず、個人との向き合い方で絆は深まると私は思います。同じ名前前で結婚したい人は同姓で、それぞれの名前で結婚したい人は別姓で。望まない改姓を強いられず、誰もが望む名前です。



埼玉大学で得た
学びと経験を

将来の世代に還元

六戸 由加里

(18年卒・国際関係論)

私は現在、公益財団法人米日カウンシルジャパンが運営する教育プログラム「TOMODACHIイニシアチブの「アラムナイ・コーディネーター」を務めています。「アラムナイ」とは「卒業生」を意味する英単語ですが、ここでは「プログラム経験者」を意味します。

プログラムとは、「TOMODACHIイニシアチブが提供する若者向けの育成プログラムの総称で、2011年の創設以来、340を超えるプログラムに9千人以上の日

米の若者が参加しています。私がこの仕事に携わること



TOMODACHI大和ハウス学生リーダーシップ
会議にて日米の参加者と共に
(本人は右から2番目)

になったきっかけは、埼玉大学での学びと密接に関わっています。

私は、2015年に3年次編入という形で埼玉大学に入学しました。

政治学、経済学、国際法学、さらには国際開発学を学際的に履修できる教養学部で研究を進める中、国際的な政策決定へ大きな影響力を持つ「大国」の外交政策について理解を深めるべく、米国に研究の焦点を当てました。

翌年にはマサチューセッツ大学ボストン校へ1年間の交換留学に行き、現地では、米国の社会の実情を身をもって体感することができました。

特に、2016年の大統領選挙を通して、「世界」の経済大国、そして多様性を重んじる国で目にしたことは、机上の学習では得られない貴重な経験となりました。

そんな中で、ボストンで「TOMODACHIプログラム」の一つ、「TOMODACHI大和ハウス学生リーダーシップ会議」が開催され、日本人学生が一人として参加させていただけました。将来の日米関

係について多くの著名なゲストから学びを得るだけでなく、プログラム後も互いを高めあうことのできる日米の友人との出会いに恵まれました。

その経験から、良好な国際関係を保つためには、将来の社会を担う人材の育成が必須であると感じ、将来は日米関係に関わる仕事に携わりたいという思いが一層強くなりました。



TOMODACHI RISEリーダーシップ・プログラム
2020年度オリエンテーションの様子
(本人は左下)

TOMODACHIイニシアチブでは、日本人学生向けの渡米プログラムのほか、米国人学生向けの訪日プログラム、さらにはそれぞれの国内で行うワークショップやイベントなど様々な形のプログラムを運営しており、そのテーマも教育、文化交流、リーダーシップと多岐にわたります。

私は、参加者が最初のプログラムで得た学びやリーダーシップを深めるための更なる機会を提供する「アラムナイ・プログラム」の運営に携わっています。

2020年には、新型コロナウイルスの影響により、対面での交流プログラムは全て延期・中止になり、厳しい状況に直面しました。しかし、「アラムナイ・プログラム」はオンライン開催へと舵を切り、2020年を通して全てのプログラムをオンラインで開催することができました。

参加者からは、「様々な活動が自粛となる中、オンラインで他のプログラムに参加した仲間とつながり、学んだリーダーシップを発揮する場を得ることができて本当によかった」との声が多数聞かれました。

埼玉大学での学びや経験が、このように次世代の若者の育成につながっていることは大変誇りに思います。これからも、若者の育成を通して日米関係の強化に貢献できるように、邁進してまいります。



ネコが大学に行ったなら

〜 埼京線物語

田沼 美知子

(91年卒・文化人類学)

埼玉大生活最大のポイントのは遠距離通学。南与野駅が寒いので電車を待つ場所が限られることをチャッカリねこはフル活用。フランス語1がついに3年目になったと泣きついた当時の終点新宿まで一緒に先輩。お茶大博士に進まれましたね。

フランス語は今も綴りも読めないけどあの時の先輩との会話練習をヒントに楽しくコミュニケーションを渡り歩きながら独学でスペイン語ができるようになりました。当時スペイン語は第二外国語になかったので。いつも武蔵浦和まで一緒に絡めたメキシコ地域研究の非常勤の先生は後に早稲田大学学部長になられました。津田塾から上智の大学院で早稲田の要職つてスゴすぎ。お世話になった方の総数想像つかないな。教養学部だけじゃないし。今ならググレの一言かな。難しく悩む人よりこういう人こそ文化人類学に向いていると信じました。が学力がおよびませ

んでした。

その後スペイン語のネイティブチェックを頼んだペルー人労働者と結婚。名簿の住所は古く今は埼玉県内に戻っています。こんな私でよかったです。メル友になりました。けやき会経由転送でいいですか？



母校の発展と同窓生のご活躍をお祈り申し上げます。

オランダから コロナのミニ報告

高橋 康夫

(69年卒・国際関係)

オランダでもコロナ禍で大変です。公道を散歩するにも他者とは2mほどの距離を取るべし、大声を出さぬこと、一度に3人以上は屋内に入れぬこと・・・云々、多くの規制があります。空手も道場では何をやっていくか判断運動ばかりでとにかく困っています。早くこの変則的な生活から抜け出したいものです。

旅行も空港での検疫期間が2週間あり、その間も指定の場所が事前登録したホ

テルなどに缶詰めにされます。それ故に我が家はもう2回、日本行きの航空便をキャンセルしました。

日本でも忘年会とか同窓会は禁止でしょうか。また、いつか埼玉大学1期生の飲み会に参加したいものです。が、いつになることやら...。我々は高齢者（日本では1期生は今年度中に全員後期高齢者になります）になるかどうかわかりませんが、お互い気を付けて参りましょう。

(オランダ在住空手道場主)

教員の異動

2020年3月31日付退職

武井 和人教授
成田 健太郎准教授

2020年4月1日付

准教授昇任
鮮于 媚(そめみ) 准教授
高畑 悠介准教授

2021年3月31日付退職

山崎 敬一教授
フライデー カール教授
明星 聖子教授
小野寺 史郎准教授

けやき会学生顕彰 第二回けやき賞

特別優秀な在学学生を称え、その研究活動を後押しすべく創設された『けやき賞』その第二回は、笠原万理子さんと吉田優希さんが受賞されました。おめでとうございます。お二人の一層の飛躍をお祈りします！

けやき賞受賞者

笠原 万理子さん

埼玉大学大学院
人文社会科学部研究科
博士前期課程1年

(推薦理由)

2020年3月、教養学部卒。卒業論文がヨーロッパ文化専攻の優秀卒論に選ばれる。本年4月から大学院に進学。現在、修士論文執筆に向けて、勉学中。

受賞のお礼

笠原 万理子

このたびは第二回「けやき賞」をいただき、心より光栄に思います。私は現在、十八から十九

世紀に活躍した英国の画家、J・M・W・ターナーを研究しています。



卒業論文では彼の風景画を、十八世紀に流行した美学思想、及び彼が影響を受けていた詩の自然描写と結びつけて論じました。

修士論文では、カルタゴの盛衰を主題とした彼の対作品が当時の英国の情勢と関係しているという先行研究に立脚し、当時の人々は彼が作品に込めた社会的メッセージを受容していたのかを多角的なアプローチで明らかにしようと考えています。

数多あるターナーの作品の中で、私は特に彼が二十代から三十代の頃に描いた油彩画に魅了されています。過去の風景画家の画風を熱心に学んだ成果と、ターナーの強みである建築物の正確な描写、スケッチ旅行に基づく写実的な自然の表現が

融合した絵は、一言で表すと「かつこいい」です。これからも画家と作品への敬意を忘れず、研究に励んでいきたいと思っています。



笠原さんには2019年号の当会報に「充実した大学生活」との寄稿をいただいています。ご参照ください。

けやき賞受賞者

吉田 優希さん

埼玉大学大学院
人文社会科学部研究科
博士前期課程1年

(推薦理由)

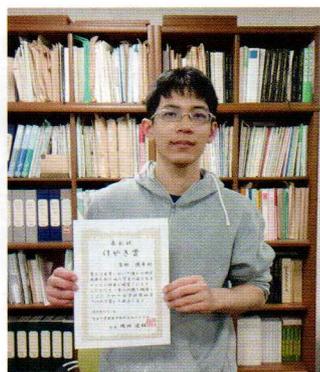
教養学部初の「5年一貫プログラム」生として、2019年9月に3年半で学士課程を修了し、同年10月から大学院に進学。現在、修士論文執筆に向けて、勉学中。

『教養学部案内2021』25頁に紹介記事あり。

受賞のお礼

吉田 優希

この度はけやき賞を賜りまして、たいへん光栄に思います。私には身に余るような思いもあります。賞に恥じぬように一層精進して参りたいと思います。さて、私がこの賞をいただくまでにどのような研究をしていたのか、そしてこれからどのような研究をしていくつもりなのか、手短かにご紹介させていただこうと思います。



私は哲学を専攻しておりますが、そのなかでも十七世紀に活躍したフランスの哲学者ルネ・デカルト（のさらにその思想の一部）を対象としております。

卒業論文においては、彼の「動物機械論」なる立場は、字面から誤解を招くの

ではないか、という視点から彼の考えを再構成することを試みました。

今後の研究としましては、彼の『情念論』という著作に光を当てながら、彼の情動理論がどのようなものなのかについて取り組もうと考えております。見慣れないであろう専門用語を多く使ってしまったが、ご覧の皆様の興味を少しでも惹くことができたのなら幸いです。重ねてになりますが、此度の賞に恥じぬよう一層励みたいと思います。

むつめゴルフ会

むつめゴルフ会は2006年に発足、全5学部卒業生、教職員が参加、同窓生の懇親を深めています。昨年はコロナで中止となりましたが、今年には以下のように開催予定です。皆さんの参加をお待ちしています。

■日程
2021年11月中旬

■場所
大宮国際CC
川越線(埼京線)
指扇駅北口より
クラブバス

※けやき会HPでも詳細お知らせします。



のちらこも情報
FACEBOOKは
むつめゴルフ会
(大会情報)

けやき会の就活応援 就活ゼミ

コロナの中でも しっかりと取り組み！



新代表が
頑張ってます！

《活動紹介》

就活ゼミ2代目代表の高木と申します。就活ゼミは2012年に初代代表の石澤さんがブラック企業へ行く埼玉大学生をゼロにすべく立ち上げた進路支援団体です。毎年多くの卒業生を各業界へ送り出してきました。



新代表 高木真慈

今回の活動紹介では、就活ゼミの概要を述べたあとに、活動のイメージとコンセプトの2点から活動を紹介します。最後に昨年度の内で実績について述べさせていただきます。

■対象は
全埼玉大生

就活ゼミ
の対象者は
大学院生を
含むすべて
の埼玉大学
生です。昨
年度は教養
学部と経済

学部の参加者が多数でした。

■埼玉大学OBだから
相談しやすい

運営を行っているのは埼玉大学の卒業生です。親しみやすいうえに大学の特徴や課外活動のことをよく知っているの相談しやすいです。



■相談はなんでもOK

相談内容は進路に関わることならなんでもOKです。就職活動だけでなく海外留学、大学院進学との相談も受け付けています。

就職活動における支援内容は採用活動で行われる選考の指南です。自己分析、エントリーシートの添削、面接練習、業界研究、企業研究、OB訪問、SPI対策が含まれます。

志望する業界が絞れたら業界ごとに分かれ、深い選考対策をしています。業界ごとにリーダーになっていただける方を募集中です。

■活動協力の拡大を！

今後は、より多くの卒業生に活動へ協力をしてもらい活動を広げていくことが目標です。様々な業界と職種の方に業界の知見と経験を還元していただきたいと思っています。

現在の就職活動とOBOGのみなさんが学生時代にされた就職活動は大きく異なると思います。働くことそのものについては普遍的なものがあると思います。

■ホームページ開設

OBOGの方々との接点を作りたいと思い、工学部の学生と就活ゼミのホームページを開発し昨年秋リリースしました。是非「埼玉大学就活ゼミ」と検索してホームページをご覧ください。



就活ゼミホームページ

また、協力していただける方はホームページの「お問い合わせ」からメッセージをお願いします。

就活ゼミのホームページはこちら↓
からもアクセスできます。



■活動イメージ

就活ゼミの活動イメージは「就職活動のベースキャンプ」です。就職活動の出击基地として参加者を全面的にバックアップします。あくまで自己実現の手段として就職を考えていますので、就職を押し付けることはしません。就活ゼミをどう活用するかは参加者の自主性にかかっています。

■活動のコンセプト

活動のコンセプトは「埼玉大生の就活をアップデート」です。

埼玉大学生は就職活動の情報戦において大きな遅れをとっています。

採用活動の本流を見極め、自分のポテンシャルを最大



限引き出して選考に臨めば、希望する進路を実現できたかもしれないのに、選考対策が不十分なまま選考に臨み悔しい思いをする学生が多くいます。

少ない情報で空回りをしている一方で、時代の流れに乗りスマートに進路を勝ち取る学生もいます。

埼玉大学生も就職活動の方法が刷新されればもっといい結果が出るのに、と、就職活動を終えた学生と話す中でこのコンセプトが生まれました。

情報格差があるのは選考突破の方法だけではありません。そもそも進路の選択においても、どんな進路があるのかを知ることもなく就職活動を迎える学生が多くいます。

自由闊達な教養学部で学んだことを活かせる進路があると知れば目的が生まれ、入学当初からより一層勉学に励むことができると感じます。

入学時から自分の進路を



意識するだけで学生生活が変わると思い、1〜2年生で就活ゼミの「メンター」をフォローしている方に声をかけ数回活動紹介をしました。

■成果は着々と

そんな就活ゼミでは昨年度参加者20名の約半数が第一志望群から内定を獲得しました。難易度の高い企業から内定獲得ができたのは自粛期間中の活動が命運を分けたと考えています。

例年他大学とは、早期の選考対策と手厚い就職支援によって差がつき、それらがそのまま合否の差となっていました。

今年も自粛期間中に就職活動に専念できる学生が増えたことと、コロナ禍で他大学の手厚いサポートが制限されたことでアドバンテージが縮まり結果に表れたと感じています。

出遅れて就職活動を始めた学生もコロナ禍で急成長し面接を突破していきましました。彼らは埼玉大学生のポテンシャルの高さを見せ、先輩に勇気を与えてくれました。

■すべての人にメリット
進路支援活動をすること

は、学生とその親御さん、教授、大学、社会、のすべてにメリットがあると感じます。

学生が希望する進路を実現すると、学生と



親御さんはもちろん、卒論に割ける時間が増えて教授は喜び、大学の内定実績が増え、社会にイキイキと働く人が増えるからです。それに、大学生活は貴重です、今しかできないことがたくさんあるのに就職活動に多くの時間を奪われて欲しくないと思います。

今年も進路実現の環境と機会を創出すべく、様々な取り組みに挑戦するつもりです。

最後に活動を支援してくださるみなさまへ、この場を借りてお礼申し上げます。いつもありがとうございます。今後も就活ゼミをよろしくお願います。



参加者の声

前を向かせてくれた

就活ゼミ

木内菜奈未
(アメリカ研究専攻三年)



就職活動を始めた頃は自粛期間とも重なり、1人でこれからのキャリアを考えることが大変苦痛でした。見通しの立たない状況下で、夢や希望だけではないかれない将来設計、また自分自身と向き合うことの厳しさを痛感しました。

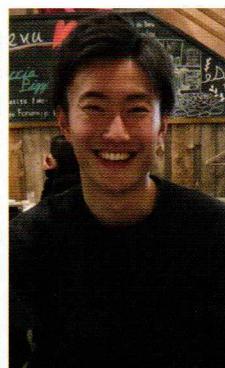
しかし就活ゼミを始めとした同じ悩みを抱える友人そして高木さんのように学生を手厚くサポートしてくれる社会人の方々と出会い、前を向くことができました。就活を始める前までは、就活は仕事をやるのが全てだと思っていました。しかし就活はゴールではなく、立ち止まってこれまでの自分を振り返り、これから先歩む道を決めるための分岐点であると気づきました。その岐路で友人や社会人の

方、家族と今まで以上に深く話せたことで、見失っていた自分の良さや他人の素晴らしさに気が付くことができました。

これからは自分の目標達成に向けてだけでなく、私を助けてくれる人達のように誰かを支えられる社会人になりたいです。

コロナ就活にもメリット

四辻明大
(経済学部21卒)



経済学部21年卒の四辻明大と申します。4月から化学系の専門商社で働きます。6月に終えた「コロナ就活」の感想は悲観的な見方をする人もいますが、私はメリットがたくさんあったと思います。

第1にオンライン面接なので自宅から出る必要がなく、交通費はかかりません。21年卒の就職活動では4月以降は最終面接も含めて一度も対面の面接がありませんでした。

第2に移動時間がない分、多くの企業を受験できるチャンスが広がります。精神的にタフでしたが、1週間に最多で16社の面接を受けていました。コロナ禍で採用人数が削られているので、エントリー数を増やして「無内定」のリスクを減らすことが大切だと考えました。

第3にグループディスカッションがなかったのでその分選考対策の負担が軽くなったように感じます。22卒の皆さんはコロナを前向きに捉えて就活を頑張ってください！

最後になりますが、就活ゼミを通じて高木さんという素晴らしい専属コーチと出会えました。面接での言葉遣いから内定獲得まで支援していただき、無事に「就活」できました。

また石澤さんが用意して下さった就活対策資料も大いに活用させて頂きました。特に質問集を参考に回答を用意しておくことで面接では全ての質問に即答することが出来ました。この場を借りて感謝いたします。本当にありがとうございます。

コロナの中の大学は・・・ 新型コロナウイルスに振り回された2020年、 大学の様子を 学部長と大学生協に取材しました。

野中学部長に聞く

入学試験の業務でお忙しい3月初旬、教養学部長の野中先生にこのコロナ禍での大学の様子をお尋ねしました。

■遠隔授業について

2020年度、前期は全てオンライン（遠隔授業）となりました。また後期はいくつかの授業で対面式の授業も行いましたが、多くはオンライン授業でした。

後期、一部授業では教室に出席の学生とオンラインの学生と混合した形での「ハイフレックス授業」を展開したこともあります。なお、けやき会の寄附講座は全てオンラインで行われました（対面では行いきいほど、受講生が大変多いといううれしい(?) 要因もあるようです)。

■オンライン授業の利点

一部には、かえって集中できるという学生も一定数

います。また対人が苦手という学生にとっても周りを気にせずに授業に没頭できる、という声も届いています。

■試験

前期は全て、レポート提出。後期は試験を導入したのも一部ありました。

レポートの内容がいつもより良かったというのが先生方の感想!!自宅で過ごす時間が多くあったからでしょうか?

■学生はPC?スマホでも?

多くの学生はPCを用意し、授業を受けていた様子



マスク忘れた学生には事務室で配布 (学内の貼り紙)

です。ただし一部にはスマホで頑張つて授業を受けていた学生もいるそうです。画面が小さいデメリットがあっても、要は授業を受ける姿勢が大事ですね。

■学生への金銭面などのフォロー

全学で「埼玉大学緊急支援奨学金」を設立、家計が急変して生活が困窮した学生に奨学金を支給しました。また文科省の後押しもあり、自宅のインターネット環境整備のためのルーターの貸与なども行ったそうです。

※けやき会からも全学同窓会を通じ、在学生への支援金を大学へお送りしました(約30万円)。

■図書館

春の緊急事態宣言時は一時閉館したものの、研究活動には必須ということで開館。ただし会話スペースを閉鎖したり、時間制限したり感染予防の工夫のなかでの利用とのことでした。

■学生生活

入学時のオリエンテーションはオンライン、入学式は中止。そのため、入学したものの一度も大学に来ないで1年間過ごした学生もいたようです。

■保護者会

毎年9月に行っていた保護者会、例年は1000人くらいの保護者が出席していたが、今年はオンラインで実施。

オンラインの参加しやすさもあり、例年以上の参加数、かえってオンラインのほうが参加しやすさという声も多く聞かれました。

保護者会の内容は①教員から授業などについて②職員から大学のコロナ対策取り組みなど③OBから就活の話などで約2時間、どの話も好評だったそうです。

ちなみに保護者会を行っているのはが学内では教養学部のみとのこと。

■留学生

アルバイトなど収入面でも苦労しているが、何よりも日本人学生と交流する機会がとれないのがつらそうでした。

■卒業式

オンラインで実施、けやき会会長もオンラインでのお祝いのご挨拶となります。

■来年度の見通し

新年度は、基本的に対面授業とするそうです。ただし、従来の詰めての着席はできず、離れての着席とな



3月ということもあるが閑散とした学内、院生や実験のある理工学生がちらほら。サークル棟からも声は聞こえてきません。

るので教室が足りないのが悩み。教養部の基盤授業など、学生数が多いものはオンラインのまま、学部の専門科目は対面を基本にしたそうです。

4月から、学生が座る机それぞれにバーコードを設置、学生はそれをスマホで読み取り着席する、という仕組みを使い、どの席にどれだけ滞在したかを把握、濃厚接触などの追跡に活かす取り組みを導入するそうです。

オンラインでの授業もそれなりにメリットもありますが、授業で対面し意見を交換し合いながら、課題を深めていくことが大切、何とかそれを実現できるように努力したいとのことでした。

また、大学に来る機会がほとんどなかった新二年生と新しく入学してくる新一年生への対応はとても大切

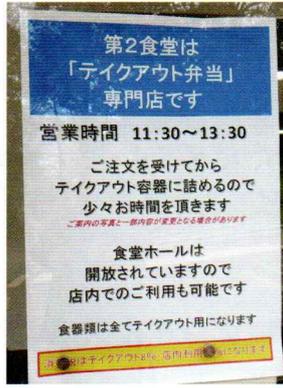
と考えて、そのフォローにより力を入れていきたいと思うとのことでした。

大学生協に聞く

続いて、大学生協の河本専務理事にも伺いました。

■コロナで変わったこと

学生が来なくなったのが一番。大学生協は大学の中だけの事業、学生が来なければ始まりません。そのなかでいろいろ工夫しています。



■食堂

第二食堂は、従来の飲食は休止、テイクアウトのみの営業。どんぶり、麺、カレーとハンバーグなどの弁当を週替わりで提供、皆さん、研究室などに持ち帰り食べてもらっています。

第一食堂は、昼だけの営業として飲食を提供しています。

カレーライス	¥264
ラーメン	¥363
丼もの	¥410
ヒレカツ	¥418
サバ塩弁当	¥450
チキン南蛮	¥450



学生が来なくなり、販売量は減ったものの、再開時に向けて食材の供給体制は維持する必要があります、運送会社との提携の維持調整にも苦労しています。

■物販など

昨年4月は教科書などの販売は全てネットでの受注、配送となりました(一部手渡し)。秋は手渡しも増えたものの多くはネットでした。

オンライン授業に向けてPCなどの取り扱ひも強化しています。ただ大手のネット通販との価格競争にはかなわないので、その代わりにPC販売のみの展開ではなく先輩の体験などを交えながらの使い方のアドバイス(講習会)などの独自の要素を入れ、大学生協の強みを生かした販売を工夫しています。

■今後の展望

会食ができないというところで売り上げは半減しました。今後対面授業も増えると思いますが、コロナ前の水準に戻すのは容易ではなさそう。大学・生協に來なくても生協を利用してもらえるようWEBなど様々な工夫をし、アピールをしていきたいです。また学生生活・友だち作りのお手伝いもオンラインなどでできるよう構想しています。

←(上) 第二食堂
←(下) 第一食堂



テーブルの上にアクリルの仕切り(第二食堂) ↓



(取材:堀江誠)

ミニ同窓会報告

各地で開催された同窓会・ミニ同窓会の報告です! みんな元気ですか?

第4回 文理学部

人文科昭和33年入学同窓会

林田武久

2013年3月銀座の銀座四季(14名参加)で開催した第3回から6年振りに8名参加で京橋の美々卯京橋で第4回となる同窓会を2019年3月29日に開催。(9名の予定が、会場にいちばん近くに住む一人が、当日急な頭痛で、カレンダーに印を付け、案内状を机上に置きながら、会の事を失念、病院へ行く一念で連絡もせず、また、連絡も取れなかつたというハプニングが有りましたが)

当日は、曇天で寒い日でしたが、遠くは福島の喜多方からの参加で、当然ながら、会は思い出話に花が咲き、熱く盛り上がり、あっという間に予定時間をオーバー、会場のご厚意で延長して頂く有様で、後ろ髪を引かれる思いで、解散となりました。

その時の様子を幹事の人で棚瀬(旧姓、佐藤)さんが3首の歌にまとめましたので、紹介します。
○旧姓が飛び交っている賑はひに埼大クラス会は幕を下ろしぬ
○60年経てば皆後期高齢者最後のクラス会はタイムスリップ
○教授との交はり深し青春の輝き充つる学生時代



埼玉大学文理学部人文科
昭和33年入学クラス会
平成31年3月29日
於 美々卯京橋店

ミニ同窓会に 補助金を支援!

8名以上の同窓生の集まりにけやき会より1万円補助します。同期生や先生を囲む会など企画して、同窓生のネットワークを拡げましょう!

※補助金申請については事務局へメールでお問い合わせください。

けやき会総会について(1)

2020年6月に予定しておりました「2020年度けやき会総会・講演会」は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止とさせていただきます。議案書はけやき会ホームページにてご覧いただけます。(けやき会ホームページ左側の「けやき会総会」をクリック)

2021年度総会も中止の予定です。

今年度(2021年度)の総会も、新型コロナウイルス感染拡大がまだおさまりきらない状況を鑑み、中止の予定です。

新年度の活動計画、決算・予算については、けやき会ホームページを通してお知らせいたします。

どうぞ、ご了承くださいませ。

【2020年度(令和2年度)提案の活動計画】 ~昨年度提案、承認されたものです。

1. 総会、講演会、懇親会・・・新型コロナウイルス感染防止のため中止
2. 教養学部教育研究支援金・・・10万円
3. けやき会による学生顕彰「けやき賞」(2020年度 第2回、2名、計10万円)
4. 大学寄附講座の開講
 - ・講師は、毎回、教養学部の卒業生が担当。社会と世界を知る実践的な講義
5. 就職支援活動としての埼玉大生のための「就活ゼミ」
 - ・在学生、特に4年生のための同窓生による就職支援活動。
6. 「さきたま塾」オンライン講座の開設(2020年2月より)
7. けやき会「ホームページ」による様々な情報発信
8. 会報「けやき会」の発行
9. 新入生用「けやき会パンフレット」の作成
 - ・新入生ガイダンスができなかったため、自宅に郵送。
10. 新入生会員の会費納入によるけやき会の財政基盤の安定化
 - ・生涯会費：30,000円(5学部同窓会とも共通)
11. 同期会、専攻別・地域別同窓会への支援
12. 常任理事会(9月、12月、2月、4月、オンラインで予定)

その他、埼玉大学同窓会(全学部)の活動として

13. 埼玉大学ホームカミングデー(HCD)・・・コロナのため中止
14. 2020年度埼玉大学同窓会代議員総会
15. 埼玉大学同窓会理事会(2ヶ月に1回の割合で開催)
 - ・5学部同窓会の会長、副会長が集まり、埼玉大学同窓会の重要案件について審議
 - ・コロナのため、目下休止中

【2020年度(令和2年度)けやき会役員】 ~昨年度提案、承認されたものです。

会長 岡田道程(76哲思)

副会長 石田義明(75国関) 吉野 晃(80文人) 萬年拓郎(85国関)

常任理事 関根増男(69文人) 飯塚 好(73文人) 堀江 誠(81哲思)
 飯沼麻儀(85現社) 稲葉雅美(92哲思) 平野友紀(94現社)
 石原 裕(95国関) 石澤和也(10国関論) 井下(設楽)咲紀(11国関論)
 金子将也(14哲学歴史) 宍戸由加里(18国関論) 榎木 誠(70中文)

※榎木は全学同窓会会長

理事 山野清二郎(65国文) 林野 宏(65地理) 赤津光一(70独文)
 井出 博(71国関) 足立 創(76歴史) 河野(高須)真澄(78歴史)
 田口美一(81シス) 中山(高橋)君江(88地理) 島田 満(90現社)
 中嶋広国(91シス) 羽賀(石澤)美樹(13国関論) 高木真慈(18ヨ・ア文化)

監事 酒井憲太郎(70日文) 武井 尚(70日文)

けやき会総会について(2)

【2020年度(令和2年度)けやき会予算】

～昨年度提案、承認されたものです。



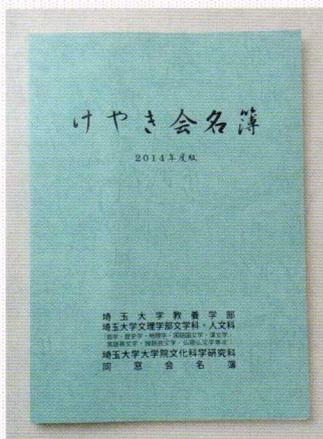
【役員のおもな役割の分担】

会計	萬年拓郎 (85国関)
庶務	関根増男 (69文人)
寄附講座	榎木 誠 (70中文)
さきたま塾	石澤和也 (10国関論)
会報・名簿	堀江 誠 (81哲思)
ホームカミングデー	飯沼麻儀 (85現社)
就活ゼミ	高木真慈 (18ヨ・ア文化)
総会・講演会	稲葉雅美 (92哲思)
	平野友紀 (94現社)

2020年度 埼玉大学けやき会予算		2020年度	2019年度
(会計期間 2020年4月1日～2021年3月31日)			
収入の部	項目		
	前回繰越金	3,374,951	2,894,990
	入会費・寄付	400,000	500,000
	入学時生涯会費	1,997,062	2,211,630
	利子	10	11
	懇親・2次会	0	220,000
	計	5,772,023	5,826,631
支出の部	項目		
	HP管理費	103,032	103,032
	会報費	210,000	200,000
	埼玉大学同窓会会費	306,000	270,000
	総会費	800,000	850,000
	懇親会・2次会費	0	220,000
	名簿費	8,000	8,000
	会議費	120,000	120,000
	事務費	70,000	70,000
	ミニ同窓会費援助費	100,000	50,000
	学部・学生支援費	200,000	200,000
	寄附講座費	200,000	180,432
就職活動支援金	200,000	30,216	
ホームカミングデーパネル費	88,000	150,000	
	計	2,405,032	2,451,680
繰越金の部	繰越金(収入-支出)	3,366,991	3,374,951
2020年3月31日		会計担当 関根増男	

新しい「けやき会名簿」を作製します!

来春4月発行予定



新しい名簿発行に向け、準備がスタートしました。
会員の皆さんのところへ調査票をお送りします。
ご協力よろしくお願ひします。

調査票は夏頃に届きます!

名簿は鮮度が命です。会員の最新情報を更新するため皆さんのもとへ調査票をお送りします。同窓会ネットワークの拡充にご協力お願ひします。

調査票は株式会社サルトから届きます。

返送先は埼玉大学同窓会事務局宛です。

※この会報と同封しました「住所不明者連絡カード」の返送先は株式会社サルトになっております。

今回も名簿作成作業は、前同様(株)サルトに委託しております。
株サルトは50年近く全国の同窓会名簿を作り続け、県内でも多数の実績があり、けやき会でも今回で3回目の委託発行となります。
(プライバシーマーク取得済)

ホームページと会報で紹介します!

けやき商店街

みんなて応援!!
掲載無料

「ここにもあった!同窓生のお店。」



98年卒の〇〇です。
浦和でカフェを
やっています。



自家焙煎のこだわりの
珈琲をぜひどうぞ!

・新型コロナの影響で、街の人出が少なくなりました。
特に小売店の皆さんは、大変なご苦勞をされていると思います。
けやき会では、そんな頑張っている皆さんにエールを送ります。
小売店を営業している卒業生の皆さん、お店の情報をお知らせください。

大募集! けやき商店街

埼玉大学卒業生(教養学部に限らず!)が経営しているお店を紹介します。
お名前、卒業年、専攻と一緒にお店の情報(お店の写真、オーナーの写真、コメント)をメールでお寄せください。
●掲載媒体: けやき会ホームページ、けやき会会報、その他媒体
●掲載時期: ホームページは順次、会報は来年度号
●掲載料など費用は一切かかりません。
■お店は、構成の都合上、実店舗の紹介とします。お店の種類は問いません。
★連絡・お問い合わせ: けやき会ホームページの「お問い合わせ」から連絡してください。
(「けやき商店街」とお問い合わせ冒頭に表記願います)

おいしい地酒、
紹介します!



オリジナルケーキ
ぜひ、召し上がれ!



お探しの一冊も
任せて!



記念日のパーティ
お手伝いします!



お望みのアレンジに
仕上げます!



※同窓生経営のオンラインショップや各種業種のご紹介は、今後検討させていただきます。

「けやき会」ホームページを見てみよう!

同窓会の情報は、ホームページでも、『埼玉大学 けやき会』で検索できます。「さきたま塾」や「就活ゼミ」の情報や新企画「けやき商店街」もこちらでご覧いただけます。



スマホなら
←こちら

編集後記: コロナ禍のなかで皆さんの頑張っている様子がうかがえてとてもうれしい限りです。「けやき商店街」の情報もお待ちしています!!

埼玉大学基金にご協力を!

埼玉大学の学生と本学の環境の整備・充実のために、温かいご支援をお願い申し上げます。詳細については、埼玉大学ホームページをご覧ください。

埼玉大学基金は次の3区分から構成されています。

1. 増大みらい基金
2. 冠奨学金基金
3. 埼玉大学修学サポート基金



埼玉大学ホームページ
または「埼玉大学基金」
で検索してください。→



会報「けやき会」
Vol. 19

2021年4月1日発行
(年1回発行)

発行者: 埼玉大学けやき会 (埼玉大学 文理学部文理学科・人文科、教養学部 / 大学院 文化科学研究科、人文社会科学研究所 同窓会)
会長: 岡田 道程 編集: 堀江 誠

埼玉大学けやき会事務局 〒338-0825 さいたま市桜区下大久保255番地 埼玉大学教育機構棟3F埼玉大学同窓会事務局内
TEL/FAX : 048-858-9218 E-mail : info@keyakikai.net